

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[Web インターフェイスソフトウェアがあることを確認して下さい](#)

[ソフトウェアを Flash にダウンロードしてブートイメージをアップグレードする方法](#)

[TFTP によるブートイメージ アップグレードの例](#)

[HTTP サーバの設定](#)

[HTTPサーバをイネーブルに設定する](#)

[HTTPポートの設定](#)

[HTTPサーバ情報を表示する方法](#)

[CWIバージョン番号を表示する方法](#)

[スイッチへの接続](#)

[要約](#)

[関連情報](#)

概要

Catalyst OS (CatOS) ソフトウェアを実行している Cisco Catalyst 4500/4000 シリーズ スイッチは、Web ベースの管理をサポートしています。Catalyst Web インターフェイス (CWI) は、このタイプの管理をイネーブルにする Web ブラウザ ベースのツールです。このツールは、Catalyst 4500/4000 シリーズ スイッチの全製品で使用できます。デフォルトでは、個別の CWI ソフトウェア イメージはフラッシュ メモリにありません。ソフトウェア イメージを個別にインストールする必要があります。このドキュメントでは、Catalyst 4500/4000 シリーズのスイッチで CWI 機能をインストールし、設定する手順について説明します。また、スイッチとブラウザの要件およびクライアントの CWI にアクセスする手順についても説明します。

注Catalyst 4500/4000 シリーズ スイッチは現時点で Cisco IOS® システム ソフトウェアを実行する Web インターフェイスをサポートしません。

前提条件

要件

このセクションは CWI を使用するときサポートされるすべてのハードウェア および ソフトウェア バージョンをリストします。

- **プラットフォーム**Catalyst 4500/4000 シリーズ Supervisor Engine ICatalyst 4500/4000 シリーズ Supervisor Engine IICatalyst 2948G、2980G および 4912G
- **Web ブラウザ**Internet Explorer、バージョン 5.0 または それ 以降Netscape Navigator、バー

バージョン 4.61 または それ以降実行する CiscoViewバージョンに基づいて、クライアントでこれらの Java Plug-In (JPI) の 1 つをインストールして下さい:5.5(3)?Use JPI 1.2.2 による CiscoView 5.4(2)。CiscoView 5.5(4) およびそれ以降か。JPI 1.3 を使用して下さい。

- **メモリDRAM** か。HTTPサーバのための相当数を必要としません。使用方法およびパフォーマンス影響は同時 HTTP セッションの数によって決まります。スイッチは最大 3 同時 HTTP セッションをサポートします。**フラッシュする**か。Catalyst CiscoView ファイルのための 3.5 MB まで、スイッチ イメージに加えて、必要です。スイッチ イメージに加えて HTTPサーバのための 40 KB を必要とします。**NVRAM** か。CWI のための相当数を必要としません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Catalyst 4000
- CatOS 5.5(8)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

このセクションは CWI の外観を提供します。Catalyst 4500/4000 シリーズ スイッチを設定するのに CWI を使用できます。ツールはから成っています:

- クライアントで動作するネーム Catalyst CiscoView との GUI
- HTTPサーバ スイッチで実行する

CiscoView イメージは CatOS イメージに統合されていません。ブート可能なイメージに加えてフラッシュ ファイルシステムに CiscoView イメージを、ダウンロードし、コピーして下さい。

常連および CiscoView イメージは両方同じような命名規則を使用します。しかし CiscoView イメージはイメージ名でイメージを区別するために「cv」が含まれています。たとえば、バージョン 5.5.8 イメージは CWIイメージの名前は cat4000-cv.5-5-8.bin であるが名前 cat4000.5-5-8.bin がある場合があります。

注CiscoView イメージは各システムイメージ リリースとリリースされません。CiscoView イメージを使用して下さいシステムイメージと同じリリーストレインにある。たとえばシステムイメージが 6.3.x である場合、CiscoView イメージ 6.3(2a) を使用して下さい。6.3(2a) イメージは 6.3 ソフトウェア リリーストレインの CiscoView 最新のイメージです。

CWI はスイッチのリアルタイム グラフィック 表示を提供します。CWI はまた詳細を提供します (以下を参照):

- ポートの状況
- モジュール状況

- シャーシ型
- Modules

CWI はサーバからクライアントに CiscoView をダウンロードするために HTTP を使用します。デフォルト状態では、HTTPサーバは無効です。CWI を有効にすることを HTTPサーバが可能にしてください。HTTPサーバを有効にした後、サーバはポート番号 80 の要求をデフォルトで受信します。1 から 65,535 までのポート番号に TCP/IP ポート番号を変更できます。

正常なダウンロードが、CiscoView および開いた後ディスプレイはブラウザの情報を切り替えます。CWI は簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 要求の使用のスイッチからのこの情報を得ます。

Webインターフェイスソフトウェアがあることを確認して下さい

CWI機能を有効にするためブートイメージおよび CiscoView 別途のイメージは両方フラッシュメモリにである必要があります。

注ブートイメージおよび CiscoView イメージ両方のために同じソフトウェアコードバージョンを使用して下さい。

1. フラッシュ ファイルシステムに常駐する両方のイメージのために利用可能な領域があることを確認して下さい。dir bootflash: コマンドを発行します。コマンド確認するため。次に例を示します。cat4000 (enable) **dir bootflash:-#- -length- -----date/time----- name 1 3651336 May 16 2001 14:30:39 cat4000.5-5-8.bin 2 2580656 Oct 09 2001 11:22:20 cat4000-cv.5-5-8.bin 9365320 bytes available (6232248 bytes used)cat4000 (enable)**
2. この資料の適切なセクションに進んで下さい:イメージは両方ともブートフラッシュにないことが分ったら、[点滅し、ブートイメージをアップグレードすることをダウンロードソフトウェア](#)に行ってください。イメージは両方ともあることが分ったら、[HTTPサーバを設定すること](#)を行ってください。注システム ファイルを使用する方法に関する詳細については[フラッシュファイルシステムを使用](#)を参照して下さい。

ソフトウェアを Flash にダウンロードしてブートイメージをアップグレードする方法

CiscoView 別途のイメージがブートフラッシュにまだあっていない場合、スイッチのフラッシュファイルシステムにイメージをコピーして下さい。これら二つのオプションの1つを選択して下さい:

- 既に同じバージョンの対応するブートイメージがあっている場合 CiscoView イメージだけダウンロードして下さい。このセクションのプロシージャのステップ 8 に進んで下さい。または
- 対応するブートイメージを持たない場合、ブートイメージおよび CiscoView 対応するイメージを両方ダウンロードして下さい。このセクションのプロシージャのステップ 1 に進んで下さい。

1. ダウンロードして下さい[ソフトウェアダウンロード](#)からイメージ ファイルを [Cisco Catalyst 4500/4000 CatOS システム ソフトウェア](#) (登録ユーザのみ)。
2. 選択の TFTPサーバにブートイメージをコピーして下さい。ワークステーションに TFTP 適切なディレクトリにブートイメージ ファイルを置いて下さい。注TFTP サーバをダウンロー

- ドします。利用可能な TFTP 多くのサーバがあります。インターネット サーチ エンジンの「TFTPサーバ」を捜して下さい。Cisco はとりわけ TFTP 特定の実装を推奨しません。
3. コンソールポートまたは Telnetセッションを通したスイッチへのログイン。Telnet のログイン、Telnetセッション切断新しいソフトウェアを実行するためにスイッチをリセットした場合の。
 4. TFTPサーバからソフトウェア イメージをダウンロードするために `copy tftp flash` コマンドを発行して下さい。プロンプトで、ダウンロードするために TFTPサーバの IP アドレスかホスト名およびファイルの名前を入力して下さい。「ブートフラッシュ」をようにプロンプト表示される時コピーするためフラッシュデバイス使用して下さい。既定値の 名前にそしてファイルをコピーするか、または宛先 ファイル名を修正できます。スイッチは TFTPサーバからイメージ ファイルをダウンロードし、イメージはブートフラッシュにコピーされます。
 5. `set boot システムフラッシュ bootflash:`を使用して下さいスイッチをリセットすると新しいイメージが立ちあがるようにファイル名 `プリペンド` コマンド `BOOT` 環境変数を修正するため。コマンド構文でダウンロードしたイメージのファイル名を規定して下さい。注このステップはブート可能なイメージにだけ必要、ない CiscoView イメージです。CiscoView イメージはブート可能なイメージではないです。
 6. スイッチをリセットするために `reset system` コマンドを発行して下さい。この操作はスイッチに接続すればのに Telnet を使用する場合、Telnetセッションを切断します。
 7. 再度ブートするのの後で、スイッチのソフトウェアのバージョンをチェックするために `show version` コマンドを発行して下さい。
 8. ワークステーションの TFTP 適切なディレクトリに CiscoView イメージ ファイルをコピーして下さい。
 9. コンソールポートまたは Telnetセッションを通したスイッチへのログイン。Telnet のログイン、Telnetセッション切断新しいソフトウェアを実行するためにスイッチをリセットした場合の。
 10. TFTPサーバから CiscoView イメージをダウンロードするために `copy tftp flash` コマンドを発行して下さい。プロンプトで、ダウンロードするために TFTPサーバの IP アドレスかホスト名およびファイルの名前を入力して下さい。「ブートフラッシュ」をようにプロンプト表示される時コピーするためフラッシュデバイス使用して下さい。既定値の 名前にそしてファイルをコピーするか、または宛先 ファイル名を修正できます。スイッチは TFTPサーバから CiscoView イメージ ファイルをダウンロードし、イメージはブートフラッシュにコピーされます。
 11. `dir bootflash:` コマンドを発行します。コマンド CiscoView イメージが正常にダウンロードしたことを確認するため。

```
cat4000 (enable) dir bootflash:--#- -length- ----date/time----
- name 1 3651336 May 16 2001 14:30:39 cat4000.5-5-8.bin 2 2580656 Oct 09 2001 11:22:20
cat4000-cv.5-5-8.bin 9365320 bytes available (6232248 bytes used)cat4000 (enable)
```

TFTP によるブートイメージ アップグレードの例

このセクションの例は TFTP アップグレードの間にスイッチからの出力を示したものです。例は [点滅し、ブートイメージ プロシージャをアップグレードするためにダウンロード ソフトウェアを示したものです](#)。

注詳細についてはアップグレー ソフトウェア イメージに、[システムソフトウェアイメージを使用を](#)どのようにに関する参照しなさいか。

```
Console> (enable) copy tftp flash IP address or name of remote host []? 172.20.52.3 Name of file
to copy from []? cat4000.6-1-1.bin Flash device [bootflash]?Name of file to copy to [cat4000.6-
```


Console> (enable) **set ip http server disable**HTTP server is disabled on the system.

HTTPポートの設定

TCP/IP ポート 80 のデフォルト設定を変更したいと思わなければ HTTPポートを設定する必要はありません。HTTPサーバのためのポート番号を設定するために、イネーブルモードのこのコマンドを発行して下さい:

```
set ip http port {port_number | default}
```

この例は 80 のデフォルト以外 TCPポート番号を設定したものです:

注この例は 2398 の TCPポート番号を使用します。

```
Console> (enable) set ip http port 2398HTTP TCP port number set to 2398.
```

この例は 80 のデフォルトに TCPポート番号を設定します:

```
Console> (enable) set ip http port defaultHTTP TCP port number set to 80.
```

HTTPサーバ情報を表示する方法

HTTPサーバ 情報を表示するために、通常モードのこのコマンドを発行して下さい:

```
show ip http
```

この例に HTTPサーバの情報を表示する方法を示されています。例はまた CWI機能がサポートされることを示したものです:

```
cat4000 (enable) show ip httpHTTP Information-----HTTP server:
enabledHTTP port:          80Web Interface:          SupportedWeb Interface version(s):
Engine: 5.2 ADP device: Cat4000 ADP Version: 1.4 ADK: 37a HTTP active sessions: 0
```

CWIバージョン番号を表示する方法

CWIバージョン番号を表示するために、通常モードのこのコマンドを発行して下さい:

```
show version
```

この例は CWIバージョン番号を表示するものです:

```
Console> show versioncat4000 (enable) show versionWS-C4006 Software, Version NmpSW:
5.5(8)Copyright (c) 1995-2001 by Cisco Systems, Inc.NMP S/W compiled on May 15 2001, 15:51:27GSP
S/W compiled on May 15 2001, 14:14:47System Bootstrap Version: 5.4(1)Hardware Version: 1.2
Model: WS-C4006  Serial #: JAB043300MG Mod Port Model          Serial #              Versions--- ---
-----1 2 WS-X4013
JAB043300MG          Hw : 1.2                      Gsp: 5.5(8.0)
Nmp: 5.5(8)2  34  WS-X4232-GB-RJ JAE042921NV          Hw : 2.3          DRAM
FLASH              NVRAMModule Total  Used  Free  Total  Used  Free  Total Used
Free-----1 65536K
30015K 35521K 16384K 7239K 9145K 480K 165K 315K Uptime is 0 day, 4 hours, 40 minutes
```

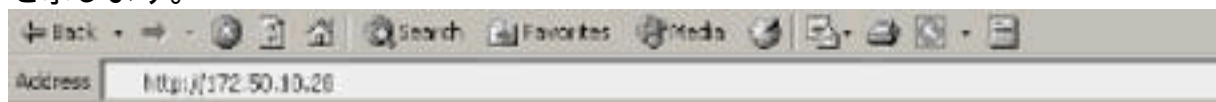
スイッチへの接続

スイッチに接続するために、[Requirements セクション](#) リストそのサポートされている Webブラウザの 1 つを使用して下さい。

注スイッチに接続されるとき、クライアントで動作する名前 CiscoView の GUI プログラムをダウンロードできます。

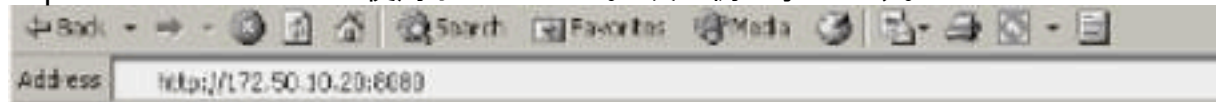
1. Webブラウザの URL フィールドでスイッチ アドレスを入力して下さい。たとえば、開いた

Netscape Navigator か Internet Explorer はおよび <http://172.50.10.20> を入力します。次に例を示します。



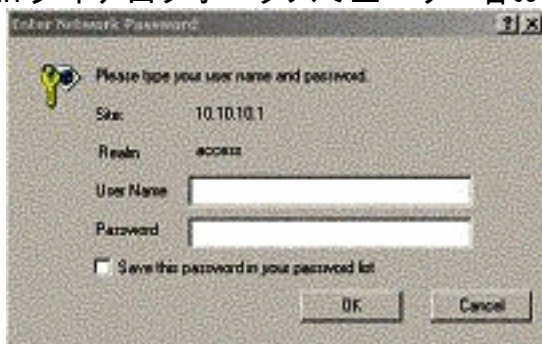
この例

では、172.50.10.20 はスイッチ IP アドレスです。ポート 80 のデフォルトからのポートの修正がある場合、この変更を示すために URL スtring を修正して下さい。たとえば、<http://172.50.10.20:8080> 使用ポート 8080。次に例を示します。



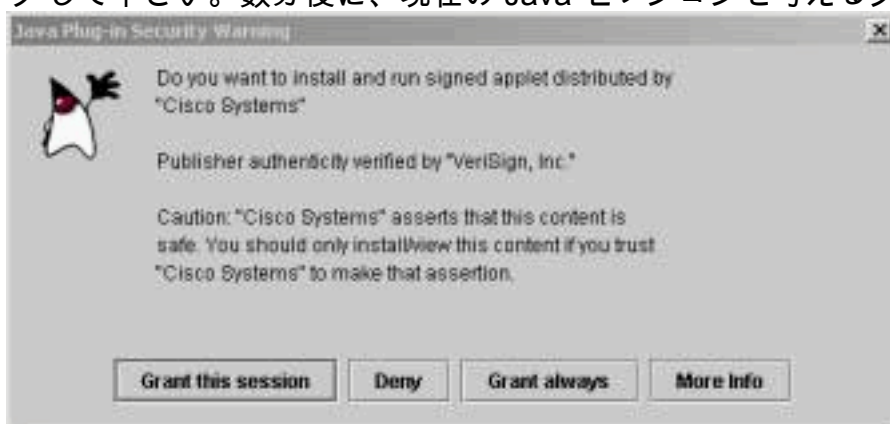
スイッ

チに接続した後、Login ダイアログボックスでユーザー名およびパスワードを求めるプロン



プトが表示されます。

2. ユーザー名およびパスワードを提供します。スイッチの既定のログイン認証を修正しない場合、イネーブルモードパスワードを使用し、User Name フィールドを空白に残して下さい。認証を設定する方法に関する詳細については [Catalyst 6500 シリーズ、4500 シリーズおよび 5000 のシリーズ スイッチ Web インターフェイス インストールおよび設定に関する注意書きの \[Configuring Authentication Login セクション\]\(#\) を参照して下さい。スイッチのホームページはブラウザに現われます。](#)
3. CiscoView クライアントソフトウェアをダウンロードするために『Switch Manager』をクリックして下さい。数分後に、現在の Java セッションを与えるダイアログボックスを見ま



す。

4. 常に『Grant this session』をクリックするか、続けるためにまたは許可して下さい。JPI がこの時点でフリーズする場合、バージョン 1.3.1 への JPI アップデートは必要である場合もあります。プラグインをダウンロードするためにサン・マイクロシステムズ [Java 2 プラットフォーム](#)を、Enterprise Edition (J2EE) 1.3 参照して下さい。CiscoView 認証ダイア



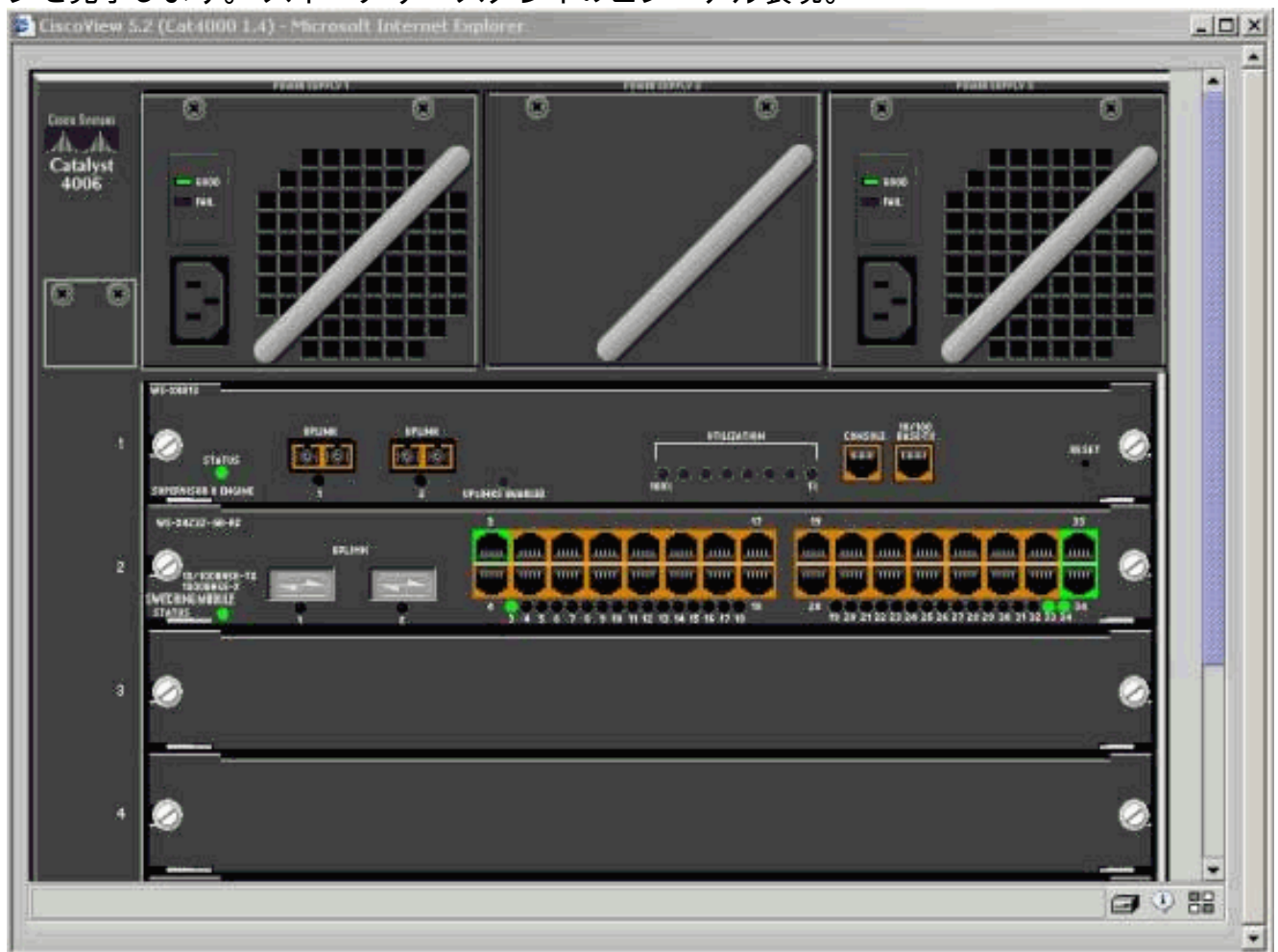
ログボックス ディスプレイ。

5. デフォルトの認証を使用したら、入力して下さいまたは設定された認証情報を入力して下さい。イネーブルパスワードをユーザネームなしで。コミュニティ スtring ダイアログボックス



クス ディスプレイ。

6. 受け入れるために提供される、または新しい値をリード (read) コミュニティおよびライト (write) コミュニティ フィールドで入力し、『OK』をクリックするために『OK』をクリックして下さい既定の文字列を。これらの文字列名を修正する場合その時だけ提供される String を変更して下さい。この操作は CiscoView イメージのダウンロードおよびログインを完了します。スイッチ ディスプレイのビジュアル表現。



7. 現在のコンフィギュレーションを表示するか、またはコンポーネントを設定するために特定のコンポーネントをクリックして下さい。

要約

CiscoView インターフェイスは CiscoView 5.x で利用可能の総機能のサブセットです。監視しません。CiscoView との CPU かメモリ使用量をできません。ただし、CiscoView はポートが作動中であるなければビューを提供します。CiscoView はまた多くの基本的なポートおよび VLAN 管理タスクを提供します。

CiscoView の第一の目的は CiscoView 5.x ネットワーク管理システムを購入したいと思わない顧客向けのスイッチを設定するために GUI を提供することです。CiscoView で Catalyst スイッチを設定する方法に関する詳細については [CiscoView 5.3 の使用の *Configuring Your Devices* セクション](#)を参照して下さい。

関連情報

- [ツールとリソース](#)
- [LAN 製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)